

JT-G996.1

デジタル加入者線(DSL)送受信機 のための試験手順

〔 Test procedures for digital subscriber line (DSL)
transceivers 〕

第3版

2005年11月24日制定

社団法人
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、(社) 情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を (社) 情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、
転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目 次

<参考>	3
1. 標準の概要.....	4
2. 本標準で規定する内容.....	4

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、国際電気通信連合電気通信標準化部門（ITU-T）SG15 会合において標準化された ITU-T 勧告 G.996.1 (02/2001)、G.996.1 Amendment1 (03/2003)、Erratum1 to G.996.1 (02/2001) (01/2003)に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

なし

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1版	2001年11月27日	制定
第2版	2002年5月30日	改定
第3版	2005年11月24日	改定

4. 工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページで御覧になれます。

5. その他

(1) 参照する主な ITU-T 勧告、標準

[1] ITU-T Recommendation G.992.1 (1999), *Asymmetric digital subscriber line (ADSL) transceivers.*

[2] ITU-T Recommendation G.992.2 (1999), *Splitterless asymmetric digital subscriber line (ADSL) transceivers.*

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元である ITU-T 勧告によっている。

具体的な規定内容は ITU-T 勧告を参照する必要がある。

6. 標準作成部門

DSL 専門委員会

1. 標準の概要

本標準では ITU-T DSL 勧告のための試験手順について記述する。本標準で記述する試験手順には、他のサービスからの漏話、無線周波数の誘導、インパルス雑音、POTS 信号が存在する場合の DSL 送受信機の試験方法が含まれている。試験線路と宅内配線のモデルは、DSL 性能試験用として世界の地域別に規定されている。他の DSL 勧告では、試験手順と試験構成のために本標準を参照している。本標準は、これら他の勧告のために性能条件を規定していない。本標準は、ある特定の勧告のために性能必要条件を測定する手順のみを規定している。デジタル加入者線 (DSL) 送受信機の概要は、ITU-T 勧告 G.995.1 および TTC 標準 JT-G995.1 にある。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の ITU-T 勧告による。

- [1] ITU-T 勧告 G.996.1 : 「Test procedures for digital subscriber line (DSL) transceivers」 (02/2001)
- [2] ITU-T 勧告 G.996.1 Amendment 1 : 「Test procedures for digital subscriber line (DSL) transceivers
Amendment 1 New Annex B」 (03/2003)
- [3] ITU-T 勧告 Erratum 1 to G.996.1 (02/2001): (01/2003)